

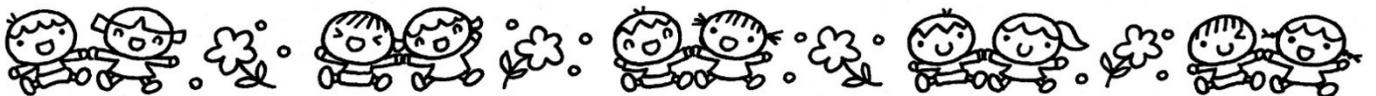
寒さの中にも少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。今年度も残りわずかとなりましたが、この一年で大きく成長した子どもたちの姿をうれしく、また頼もしくも感じているこの頃です。来年度からはよいよ年長組です。少しずつ年長児への期待を持てるように準備をしながら残りの日々もたくさん楽しみたいと思います。1年間、ご協力どうもありがとうございました。

ひなまつり制作

お雛様の見本を飾ると「今からやるの？早くやりたい」とお雛様の歌を口ずさんで、やる気満々な子どもたち。画用紙をはさみで丸く切って顔を描きました。はさみが上手に使えるようになり、丸い形もあつという間でした。また顔もそれぞれのパーツの位置がわかり、みんなとても上手に描けるようになりました。体は折り紙をまいたり、和紙ににじみ絵をして着物を作りました。それから、冠、扇など貼ると、お友だちと見せあって喜んでいました。制作を行うたびに筆圧やハサミの使い方、楽しく描く力がついてきて、この1年間の個々の成長を嬉しく感じています。

ぞう組からバトンタッチ

ぞう組さんと「だるまさんがころんだ！」を一緒に遊んでから、きりん組にブームがきています。年上の子と遊ぶことで、ルールを守ったり、みんなで楽しむ方法を教えてもらっているように思います。それが元になって、また遊びたいという気持ちが湧いてきています。自分たちでも工夫し、「だるまさんがころんだの1日」という新しい遊びも生まれ、大勢で楽しんでいます。反対に大縄では、うさぎ組さんが「入れて」とくると「いいよ」と入れてあげ回数を数えたり「もうちょっとだよ、頑張れ」と声を掛けてあげる子もいます。まるで「優しさのバトンタッチ」が行われているようです。



おみせやさんごっこ たのしかったねー！

先日、きりん組がお店屋さんを开店し、他の学年のお友だちに買い物に来てもらいました。みんなで頑張った品物を作ったので、ドーナツ、アイス、たこ焼き&焼きそば、アクセサリー、携帯、ゲーム屋さんの6つものお店を開くことができました。お店を開くことをとても楽しみにしていて、ハサミで切ること、色を塗ることなど自分の得意なことを進んで担当し、「僕がやってあげる」「私に任せて」など頼もしい発言もたくさん聞こえてきました。「どんな感じにすれば買ってくれるかな」と友だちと相談しながら頑張った品物を作ったり、看板づくりでは大きな字を書くことにも挑戦しました。やりたい子が書いていると、「僕もやってみる」と挑戦し、「やってみたら簡単だった」と嬉しそうでした。パイを使っのやり取りもお店屋さんごっこを盛り上げていました。この行事を通して、さらにクラスみんなで協力する楽しさを味わえたように思います。